

わかさニュース NO.248

ホームページのアドレス

<https://www.wakasa.jp>

スマートフォンからも
アクセスできます



あなたから始まる次代への健康衛生
わかさ生活。 本社/京都市下京区四条烏丸長刀鉾町22
わかさ生活フリーダイヤル 0120-788-788
編集/もときはるな
メールアドレス/news@wakasa.jp
2019年6月末日発行

ありがとうございます 一縁のeye基金

2億円

達成!

ヤマモト
ハルミ

クワタマナミ

しゃちよ~

Blueberry Ribbon

わかさ生活は、創業以来商品を1袋買っていただくたびに「1円」を社会貢献に活用しているってご存じでしたか？毎月、わかさニュースの裏面に載っている『一縁のeye基金』です。

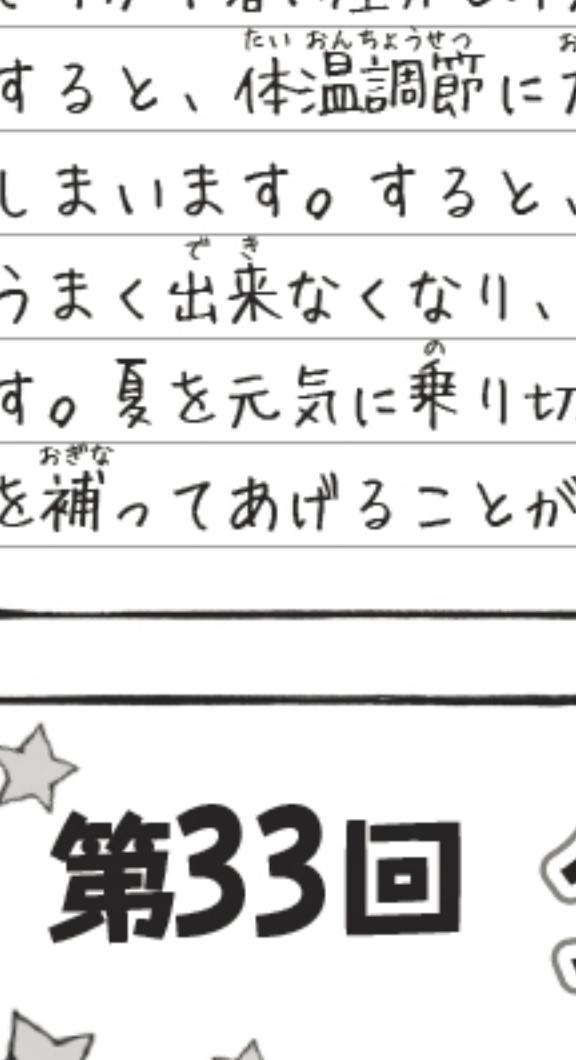
そして、その総額が2019年5月に2億円に達しました！

この金額は、長い年月とともに皆様の優しい気持ちが積み重なってできた結果です。ありがとうございます😊(使用例の一部は中面に)

一縁のeye基金で どんどん笑顔が増えています♪

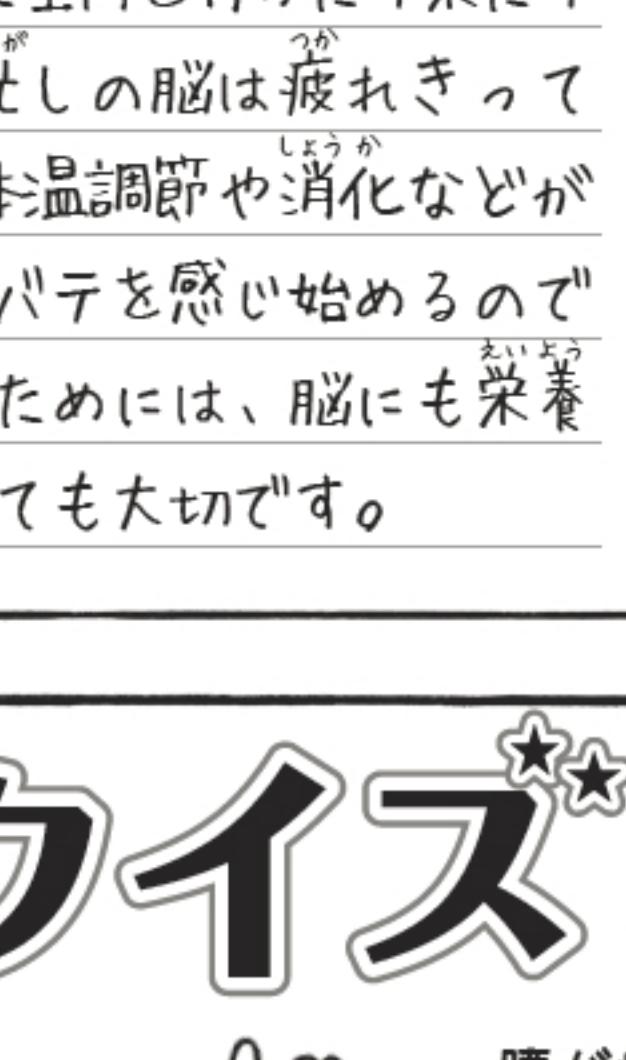
使い方の一例です

盲導犬育成支援



これまでに支援した金額は盲導犬15頭分(総額4,516万円)になります。

視覚障がい者スポーツ支援



視覚障がい者マラソンは2004年から16年継続。現在も誰もがスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいます。

視覚障がい者への応援



「视力を取り戻せるように」との想いで、2008年からアイバンクへの登録や献血などの普及活動をミュージカルで伝えています。

被災の現場に社員が行く



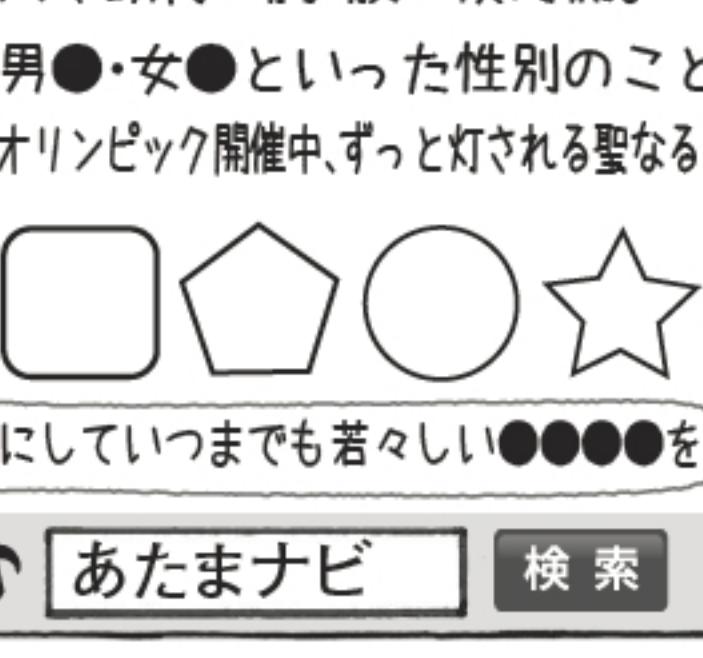
中越地震(2004年)や東日本大震災(2011年)をはじめとした自然災害による復旧のお手伝いを創業当時より行っています。今までの支援は4億6,500万円以上になります。その一部を一縁のeye基金から活用させていただいている。

児童養護施設支援



児童養護施設の子どもたちと遠足や遊園地に行き、豊かな心を育むことを15年以上継続しています。2005年から始まり、子どもたちの交流会は78回実施しています。

日本・フィンランド友好プロジェクト



2005年フィンランド・サンタの森での植樹から始まり、それから毎年サンタクロースを日本に招待し、子どもたちに夢と希望を届けています。出逢った子どもは36,585人に。

これからも、困難に向き合い頑張っている方の自立や、未来を担う子どもたちの豊かな心を育むことを目的とした活動を行うとともに、社会の発展に貢献してまいります。(従業員一同)

わかさ生活の社会貢献活動のホームページはコチラ

わかさ生活 社会貢献

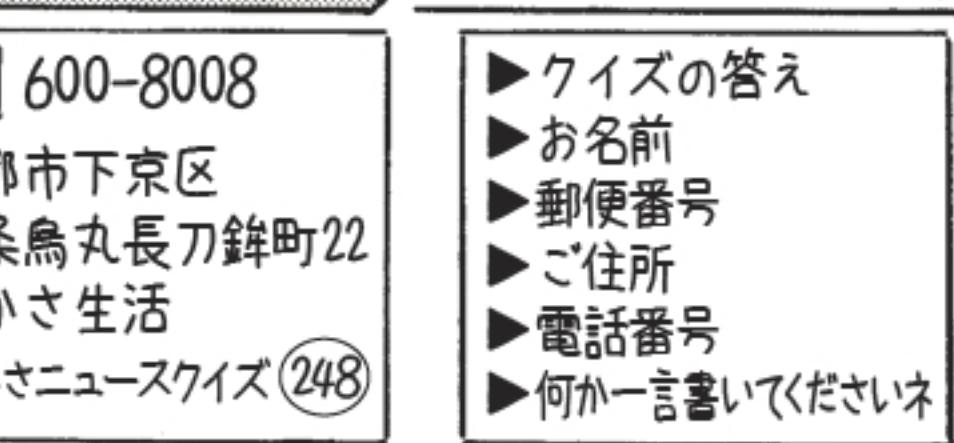
検索

体のだるさは 脳の夏バテから!?

体温がどんどん上昇すると、体がだるくて食欲もなくなる…、そんな経験ありますよね。

実はこれ、「脳の夏バテ」からきてるってご存じですか？暑い屋外と冷えた室内を行ったり来たりすると、体温調節に大忙しの脳は疲れきってしまいます。すると、体温調節や消化などがうまく出来なくなり、夏バテを感じ始めるのです。

夏を元気に乗り切るためにには、脳にも栄養を補ってあげることがとても大切です。



膝が痛いのに頑張って階段を登っているケンタローくん。おや？段ごとに模様が浮かび上がってきたよ

4段目

3段目

2段目

1段目

問題 □△○☆には、それぞれ同じひらがなが入ります。

1段目の言葉を答えてね♪

4段目 人や動物の胸・腹の反対側。

3段目 男●・女●といった性別のこと。

2段目 オリンピック開催中、ずっと灯される聖なる火。

答え

1段目 □△○☆

関節を健康にしていつまでも若々しい●●●●を！

わがままナビ

検索

10回クイズ 画: ササヤマナツ がんばれケンタロー！/ わかさ生活 社員 絵日記 vol. 24

4コマ漫画 全話公開中！

おまけ♥

4コマ漫画 全話公開中！